

第15回 山口県ケアマネジメント研究大会
日本介護支援専門員協会 中国ブロック研修会
開催のご案内

看取りケアについて考える
～チームアプローチでのケアマネの役割り～
「フレイル・スケールの活用」

ここ数年、終末期のケース依頼が増加傾向にあります。私たちケアマネジャーの看取りケアにおける役割は、利用者や家族に寄り添うことはもちろん、タイムリーなサービス調整、利用者の意思決定支援、多職種連携など多くの役割を担い、責任も重大です。平成30年度の介護保険・報酬改定においても、終末期のケアマネジメントに対して新たな加算が設定され、さらにケアマネジメントプロセスが簡素化されるなど、大きく変化しているところです。

しかし終末期の看取りケアにおいては、医療色が強いため、苦手意識を持ち、チーム内での役割や立ち位置を見失っているケアマネジャーもいるのではないのでしょうか。

そこで、あらためて私たち1人ひとりが自らの役割を自覚するとともに、さらに看取りケアについての研究を深め、自らの持つ専門性を高めていくことで、ケアマネジャーが利用者や家族の精神的な支えとなり、チームの一員としてその使命を果たすことが出来るよう、本研究大会を開催いたします。

日時 平成30年10月27日（土）
午前10時～午後4時20分
場所 山口県セミナーパーク 講堂

主催：一般社団法人 日本介護支援専門員協会
一般社団法人 山口県介護支援専門員協会

第15回 山口県ケアマネジメント研究大会
日本介護支援専門員協会 中国ブロック研修会
開催要項

1 テーマ

看取りケアについて考える～チームアプローチでのケアマネの役割り～
「フレイル・スケールの活用」

2 日時

平成30年10月27日(土) 午前10時から午後4時20分まで

3 場所

山口県セミナーパーク 講堂
山口市秋穂二島1062

4 主催

一般社団法人日本介護支援専門員協会、一般社団法人山口県介護支援専門員協会

5 共催(予定)

一般社団法人広島県介護支援専門員協会、特定非営利活動法人岡山県介護支援専門員協会、
特定非営利活動法人島根県介護支援専門員協会、公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団(順不同)

6 後援(予定)

山口県、山口市、日本ケアマネジメント学会、山口県社会福祉協議会、山口県社会福祉事業団、山口県
医師会、山口県歯科医師会、山口県薬剤師会、山口県看護協会、山口県栄養士会、山口県社会福祉士会、
山口県介護福祉士会、山口県理学療法士会、山口県作業療法士会、山口県歯科衛生士会、山口県病院協
会、山口県訪問看護ステーション協議会、山口県言語聴覚士会、山口県医療ソーシャルワーカー協会、
山口県精神保健福祉士協会、山口県老人福祉施設協議会、山口県老人保健施設協議会、山口県デイサー
ビスセンター協議会、山口県老人デイ・ケア協議会、山口県訪問介護事業所連絡協議会、山口県地域包
括・在宅介護支援センター協議会、山口県福祉用具協会、山口県国民健康保険団体連合会、山口県宅老
所・グループホーム協会 (順不同)

7 参加対象者

介護支援専門員、福祉・保健・医療関係者、行政関係者、学生、その他

8 定員

300名【定員になり次第締め切らせていただきます】

9 参加費

【大会当日受付にて徴収させていただきます。】

会員：3,000円 一般：8,000円 学生：500円

※本大会は、公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成を受けて開催します。

※1 参加費種別の会員とは山口県介護支援専門員協会の会員になります。

※2 当日本会への入会を希望される方も会員価格で参加いただけます。

※3 広島、岡山、島根、福岡県支部の日本介護支援専門員協会正会員の方は当会正会員と同じ参加費区分を
適用します。

10 昼食について

研修会場内での飲食は禁止です。

各自でご持参いただくか、セミナーパーク併設の食堂をご利用ください。会場外のロビーや管理棟二階
の食堂前のロビーもご利用いただけます。ゴミは各自でお持ち帰りください。

11 申込締切

平成30年10月15日(月)

別紙参加申込書により下記事務局に郵送又はFAXでお申込みください。

12 問い合わせ・申込み先

一般社団法人 山口県介護支援専門員協会 事務局 担当：田中、岡村

〒753-0072 山口県山口市大手町9-6 TEL：083-976-4468 FAX：083-976-4469

13 日程及び内容

時間	内容
9:30	受付開始
10:00	<p><開会式> 主催者挨拶 来賓挨拶 山口県・山口市・山口県社会福祉協議会 <永年表彰式></p>
10:30	<p><研究発表> 第1分科会 長門市 「A市における看取りの実態と地域連携の現状」 松井介護支援事務所 「自分の想いを伝えられない方の意思決定支援における介護支援専門員の役割」 広島県 「在宅看取りを支えるチーム作りと協働」 岡山県 「さいごの時間をその人らしく過ごせるために(仮)」</p> <p>司会者 (一社)日本介護支援専門員協会常任理事 佐々木 啓太氏 助言者 済生会在宅複合型施設やすらぎ 顧問 松永 俊夫氏</p> <hr/> <p>第2分科会 山口市 「公正中立に関する介護支援専門員の意識調査」 美祢市 「地域の介護力についての意識調査」 周南市 「住み慣れた自宅で二人の時間を大切に過ごしたい」 ～穏やかに最期を迎えていただくため専門職ができること～ 島根県 「飯南町における看取りのケースを振り返って(仮)」</p> <p>司会者 (一社)山口県介護支援専門員協会理事 山本 史彦氏 助言者 徳山大学 福祉情報学部教授 徳重 柳子氏 1題あたり 発表:15分 質疑応答:5分</p>
12:15	<昼食休憩>
13:30	<p><日本介護支援専門員協会 活動報告> (一社)日本介護支援専門員協会常任理事 佐々木 啓太氏</p>
14:00	<休憩>
14:15	<p><基調講演> 看取りケアについて考える～チームアプローチでのケアマネの役割り～ 「フレイル・スケールの活用」(仮) 講師 東京大学大学院人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター 上廣死生学・応用倫理講座 特任教授 会田 薫子氏</p>
15:45	<お楽しみ大抽選会>
16:20	閉会

※上記の通り予定していますが、プログラムの一部、演題等が変更される場合もあります。

～講師紹介～

東京大学大学院人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター
上廣死生学・応用倫理講座 特任教授 会田 薫子 氏



専門：臨床倫理学、臨床死生学、医療社会学
研究分野：エンドオブライフ・ケア、延命医療、
高齢者医療とケア、脳死、臓器移植 略歴

東京大学 大学院医学系研究科 健康科学専攻博士課程修了 博士（保健学）
ハーバード大学メディカル・スクール医療倫理プログラム フェロー（フルブライト留学）
東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター上廣講座特任准教授を経て、現職

著書

- ・単著
『延命医療と臨床現場：人工呼吸器と胃ろうの医療倫理学』東京大学出版会（単著、2011）
2012年度日本医学哲学・倫理学会賞受賞
2012年度三井住友海上福祉財団賞受賞
- ・共著／共訳
『医と人間』岩波書店（共著、2015）
『老い方上手』WAVE出版（共著、2014）
『高齢者ケアと人工透析を考える：本人・家族のための意思決定プロセスノート』
医学と看護社（編、2015）
『高齢者ケアと人工栄養を考える：本人・家族のための意思決定プロセスノート』
医学と看護社（共著、2013）
『生命倫理シリーズ3 脳死・臓器移植』丸善出版（共著、2012）
『生命倫理シリーズ4 終末期医療』丸善出版（共著、2012）
『病院倫理委員会と倫理コンサルテーション』勁草書房（共訳、2009）
『死生学シリーズ5 医と法をめぐる生死の境界』東京大学出版会（共著、2008）
『日米の医療－制度と倫理』大阪大学出版会（共著、2008）
『事例から学ぶ－はじめての質的研究法 医療・看護編』東京図書（共編著、2007）
『高齢社会を生きる 老いる人 / 看取るシステム』東信堂（共著、2007）
『脳死論議ふたたび』社会評論社（共著、2005）など

学会・社会活動

日本生命倫理学会理事
日本医学哲学・倫理学会理事
日本老年医学会代議員
日本救急医学会研究倫理委員会委員・高齢者救急委員会委員
日本透析医学会倫理委員会委員
静岡県立静岡がんセンター治験倫理審査委員会委員
NPO法人PEG ドクターズネットワーク（PDN）理事 PEG・在宅医療研究会幹事など

非常勤講師：早稲田大学大学院政治学研究科（担当科目「医療とメディア」）